東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー
テーマ

奉仕を通じて
平和を

Vol.46　第2254回例会　2013.3.14

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
戸澤例会運営委員

■点鐘：中丸会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」

◆ソングリーダー：
荻野会員

■お客様紹介：
嶋田パスト会長

◆ゲスト：米山奨学生
朴動浩さん

■会長報告　中丸会長

皆様こんにちは。ここ2～3日ワールドベースボールクラシックのテレビ観戦等で盛り上がった皆様も多いかと存じます。日本は三連覇を目指して何とか準決勝に勝ち進みましたが、日本と共にオランダも韓国やキューバを破り準決勝に勝ち上がりました。

このオランダチームの主力は、南米ベネズエラの沖100kmほどのカリブ海に浮かぶオランダ領アンティルのキュラソー島出身者が主力を占めています。ヤクルトのバレンティン、楽天のジョーンズ、ミューレンス監督等がこの島の出身者です。

キュラソーの名前はオレンジの香りのリキュールで有名です。オランダ産以外でもキュラソーの名前で売られていますが、オランダが原産でキュラソー島のオレンジを使ったことからこの名前があります。

オランダがワールドベースボールクラシックで勝ち進まなければ知らなかった事ではないかと思います。

■永年在籍45年記念品授与

■隅屋会員

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

■幹事報告　　赤木幹事

■2013～14年度多摩分区ガバナー補佐：
次年度会長・幹事懇親会開催のお知らせ
2013年3月27日（水）　18:00～
於　フォレスト・イン昭和館

■東京神田ロータリークラブ：
第3回RID2580九十会（在京）開催～多田宏ＰＤＧを囲む会～の案内について
2013年6月6日（木）　18:00開宴
於　九段下ホテルグランドパレス

■「ロータリーの友」地区代表委員：
「ロータリーの友」アンケートの協力依頼について
各クラブ1名代表回答
締切2013年3月29日

■青少年交換委員会：
青少年交換派遣留学生募集について
資料、ポスターの受理
・資料は事務局にて保管
・ポスターは例会場に掲示
・募集期間　2013年4月1日（月）～5月17日（金）
・派遣期間　2014年7月or8月から1年間

■米山奨学委員会：
地区米山奨学委員会（新旧合同）の案内について
2013年3月25日（月）　15:00～
於　ガバナー事務所（会議後懇親会あり）

■回覧：
ハイライトよねやま
所沢中央ＲＣ週報
小平ＲＣ週報
心の東京革命推進協議会
・心の東京革命
・「家族とのふれあい」小冊子
・「中学生の主張東京都大会」小冊子
・いじめとどう向き合いますか？
米山梅吉記念館「館報」

■奨学金授与

■中丸会長から
朴動浩さんへ

■出席報告　　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
29	25	0	2	92.59

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：92.59%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
金子会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　　山宮クラブ管理会員

■ご結婚祝月：
小町会員、荻野会員

◆中丸会長、赤木幹事：
本日は野村裕夫さんの卓話楽しみにしています。写真ありがとうございました。
◆野崎会員：写真ありがとうございました。米山奨学生、朴動浩君が3月1日に終了証を授与され今日一杯で当クラブの出席は終わりとなります。4月以降も交流していきたいと思います。
◆目時会員：写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　14,000円
累　　計　：1,037,800円

■委員長報告

■野村クラブ奉仕委員長

皆さん、こんにちは。今日メールボックスの中に次年度の組織表が入っていたかと思います。本来なら今の段階では「案」ということで文面に入れておかなければいけなかったのですが、入っておりません。次年度に入ってから「案」が取れたものをお渡しする予定でしたが、先に出てしまいましたので、申し訳ありませんが、ご了承の程、よろしくお願い致します。

また今回、新しく会員になられる清水さんには例会運営委員会を予定しております。よろしくお願い致します。

■野崎地区米山副委員長

皆さん、こんにちは。先程お話がありましたように朴 動浩さんが今月で米山奨学生としては終了致します。米山奨学生には、1年奨学金を寄付する人と、2年寄付する人と二通りあります。朴さんは2年、当クラブでお世話しました。割合としては、3割位が2年で、残りの7割ほどが1年間限定ということになります。

朴さんにはクラブの各種行事にも参加してもらいましたし、例会への出席もきちんとしてもらっています。また、年に2回、レポートを出してもらっていますが、それを拝見させてもらいますと、米山奨学会の奨学制度、カウンセラー制度ということについて立派なレポートを出して頂いております。本人からも話があると思いますが、6月までは日本にいらっしゃるようです。5月にまた、論文の2次審査があるようですが、再来年はソウルの地区大会もありますので、いろいろと連絡をとってやっていきたいと思います。ありがとうございました。

■米山奨学生
朴動浩さん

こんにちは。今日で終わりなのですが、また皆さんに会える機会があると思いますし、特にお別れの言葉は要らないと思います。

報告をしますと、東大の論文審査が3回あるので、そのうちの第1回目の審査が通ったばかりです。あと2回残っているのですが、本当は2月にパスして3月に卒業する予定というのが普通なのですが、6か月延ばしてもう少し研究してその審査を5月に受けることになりました。ですから、6月までは東京に確実にいると思います。延ばした理由の一つは、こちらのロータリークラブでお世話になり、ちょうど2年目に入った頃、ロータリーの活動を見ながらすごく学んだことがあります。特に川の掃除や他の団体と交流する姿、また皆さん毎週ここに集まってロータリーソングを歌う姿というものを見て、ローカルからの交流、世界の組織のロータリーの精神が一人一人に伝わる仕組み、そういう精神の流れ方にすごく感動を受けました。

自分の研究の中でも、町づくりや都市の環境などにずっと興味を持って研究していたのですが、本当に大切なのは、自分の家の周りや環境に、一人一人が自分のできることを頑張って、自分が一番良い方法を選んでいくことによって良い町になっていくのではないかということを、ロータリークラブの活動を見てすごく思いました。そして1次審査を先生に申し上げて2回受けることになったのです。

1回目は自分なりの研究だったのですが、ロータリークラブで学んだことを研究に反映して、また違った内容で1年後に１次審査を受けました。多分これからもいろいろ勉強して、研究の結論としてどうなるか分かりませんが、その結論を皆さんにいつか報告できたらきっと喜んでいただけると思います。卓話の時にも皆さんにお願いしたのですが、これからも私に期待していて下さい。ありがとうございました。

■當麻国際奉仕委員長

皆さん、こんにちは。オン・ツー・リスボンの最終報告をいたします。おかげ様で多摩分区全体で、当クラブが13名なのですが、25名集まりましたので、6月から行ってまいります。また、リスボン石川ナイトは全員参加で集まりましたので、そちらの報告をさせて頂きます。ありがとうございました。

■小町会員

朴さん、ご苦労様でした。朴さんと先日話をしたときに、町づくりということで私も興味がありまして、家のつくり方の違いなど、非常に丁寧に説明していただきました。いつかまた、こちらに来て卓話をしていただけるといいなと思いますので、よろしくお願い致します。

さて、明日の18:30よりサンパルネコンベンションホ

ールにてファイナンシャルプランナーの北野さんという女性の方の講演会をやるそうです。今、青年会議所はメンバーが少なくて苦戦しておりますが、少ないながらも頑張っているということで、ぜひＰＲしてくださいということでした。明日の夜はサンパルネへお出かけいただければありがたいと思いますので、よろしくお願い致します。

■３分間スピーチ

■発表者紹介：
山本職業奉仕委員長

皆さん、こんにちは。去る12日の火曜日に2013-2014年度の地区研修セミナーへ行ってまいりました。吉田次年度ガバナーと上野さんが研修リーダーということで、各委員会が開かれる前の研修会でしたので、顔合わせという形で行われました。今年度は地区の方も早く動いておりますので、これからどんどん皆さんにもいろんな情報が伝わってくると思います。次回の委員会後に詳しいお話をしたいと思います。

それでは本日の3分間スピーチは野澤パスト会長にお願いしたいと思います。他の団体で3分間スピーチはいっぱいこなしていらっしゃいますので、今日は3分間の中でも充実した素晴らしいスピーチをしていただけると期待しております。どうぞよろしくお願い致します。

■野澤会員

皆さん、こんにちは。最大のプレッシャーをかけていただきまして、山本会員、感謝致します。実は先週スピーチの予定が延びまして、それ以来どんな話をしようかと頭をめぐらせていたのですが、阪神淡路大震災から20年近くも経って東日本大震災からも2年経ちまして、こういう話や、毎日のテレビや新聞では強盗、殺人、放火、いじめなどの話も毎日いとまがありません。そういう題材は転がっているし、皆さんも見ていらっしゃるので今日はホットな話にしようと思い考えてきました。

私は今も玄米菜食を続けており、お昼は自宅に帰ってのんびり食事をしています。奥さんが出かけるときは料理を全部作っておいてくれて、温めればいいようにしてありますので食べているのですが、今年の冬、庭先の小さなみかんの木にメジロが寝泊まりしていることに気がつきました。テレビを見ながらだけではなく、メジロでも見ながら食事をするのもいいなと思い、小さなエサ台を作りました。それを作ったらなんといち早く気がついて飛んできたのはヒヨドリでした。ヒヨドリが来ると、メジロはすぐ逃げてしまいます。ヒヨドリが十分食べて飛んでいくと、2羽のつがいのメジロが来て食べます。実はあるとき、ヒヨドリが入らないように針金で柵を作りました。すると上手なことに両方の入り口から頭を突っ込んで引っ張り出して持っていったりするのです。悔しいあまり、簡単な弓矢を作ってヒヨドリが来たときに引いたんです。それを2回程やって、最初は逸れたのですが、1回は箱に当たりました。なんとそれっきり来なくなりました。ところが残念なことに、メジロも来なくなってしまいました。鳥同士の警戒の合図でもあるのでしょうか、これにはガッカリしましたが、最近またヒヨドリが来ないような柵をつくったところ、メジロだけが来るようになりました。

そういうことでのんびりした時間が過ごせるようになりました。皆さんもメジロでも見ながら、たまにはウグイスも来るかもしれません。そんな時間をとるのもいいかと思います。ありがとうございました。

■卓話（イニシエーション・スピーチ）

■卓話者紹介：
相羽プログラム委員長

今日はイニシエーションスピーチということで、野村会員にお願い致しました。年初に、今年度は会員の中の職業奉仕の積み重ねや、人生の年輪を重ねてこられた大先輩の話を聞きたいということで、最初に嶋田会員にお願いし、次に樺澤会員、そして本日は野村会員にお願いしました。4月の第4例会は村越会員にお願いしてあります。今日のテーマも私が勝手に決めさせてもらい、「現役時代の職業奉仕について」ということで卓話をお願いしました。来月の村越会員のテーマは、「妻に感謝、人生に感謝」ということでお願いしようと思っております。では野村さん、よろしくお願い致します。

■卓話者：野村裕夫会員

元富士重工マンとして

まず富士重工の前身の中島飛行機の創業から話を致します。

この三多摩で戦前、戦中、戦闘機を作っていた中島飛行機の誕生は大正6年海軍機関大尉中島知久平が群馬でベンチャー企業を興したことから始まります。

中島知久平は群馬県新田郡の農家の長男として生まれましたが軍人になり横須賀の海軍工廠で働いていました、当時の世の中の軍備の常識は戦艦主体でしたが

中島はこれからの戦争は航空機が中心になると確信し、自分で航空機を作るべく軍人を止めて生まれた地に飛行機研究所を作ったのが始まりです。今でもこの地を本拠地にしてスバルは開発生産をしています。

今から96年前の創業ですので　あと4年で100周年になりますが、関係者でお祝いをする環境になったかなあと思っています。

創業は第一次世界大戦が終了した1年前ですので、日本は第一次世界大戦景気に沸き上がり造船鉄鋼といった産業が活況を呈していた時代で、世の中は景気のいい、多分ちょっとしたバブルだったかも知れません。新技術の積極的な吸収、世の情勢(戦闘機が中心となる軍備)、時の運(日本の戦争参加)など重なって会社は成長しました。当初外国技術を導入しながら旅客機、郵便飛行機など製造していましたが、時代が軍需産業最優先の時代に突入しました。陸軍機、隼・疾風、海軍機、月光・彩雲・橘花などを生産しました。どちらかと言うとエンジン開発が得意で、当初外国(英国)から買っていたエンジンを国産化した星型エンジン(9気筒、11気筒など)を作り、三菱の零戦にも中島製エンジンを多く搭載しました。中島はどちらかと言う陸軍に強く、三菱は海軍に強かったよう。

軍の指導で事業は拡大に継ぐ拡大をして発展しました。ただ陸軍海軍は仲が悪く工場はすべて陸軍専用、海軍専用と区分けをして拡大していきました。最終的に製作所15(工場102)、北は岩手、西は愛知の半田、従業員26万人という大企業に成長しました。

この多摩地域では、武蔵野・三鷹・荻窪・田無に工場がありました。しかし昭和19年11月のB29の東京空襲で、まず一番に攻撃目標になったのが中島飛行機工場でした。特に中島の当時最新工場だった武蔵野は最初に狙われ壊滅しました。1945年(昭和20年)4月航空機事業の国有化決定に伴い、中島は第一軍需工廠の指定を受け軍管理の基で従業員が働いたという状況でした。そして8月に敗戦となり同時に会社は解体されました。現在工場跡地は、武蔵野は市役所、ＮＴＴ研究所、中央公園など、三鷹はＩＣＵ、野川公園、荻窪はプリンス、日産からマンション地域に、田無はＩＨＩからマンションになっています。

中島の開発・生産の思想は新しいものを積極的に取り入れることでした。軍の要求が至上命令だった時代にパイロットの生命、安全を守ることを第一として軍と葛藤したり、最高性能の追求とパイロットの安全確保の両立のために最大限の努力をしたようです。技術者自身が納得できるものを執念を持って作り上げたようです。だからこそコスト意識が薄かった。それがスバルに引き継がれています。

個人の力量を生かす自由闊達な風土には東京帝国大出身者の優秀な人材も多く集まったようで、ペンシルロケットを飛ばした糸川英樹も中島飛行機出身です。

今、国分寺の早実中高正門の前に日本で初めてロケットを打ち上げた場所と言う事で糸川英樹の記念碑があります。

終戦で中島飛行機はＧＨＱによって財閥解体指定第1号をうけます。そして12社に分割となりました。成金財閥の中島飛行機はＧＨＱの指示に素直に従いましたが、一方の伝統ある財閥三菱三井などはノラリクラりとなかなか応じず、日本の成長が進むとすぐに合同合併になったようです。

分割会社の製造品は、主な物はラビットスクーター(航空機の車輪を活用して)、オートバイキングダイナ、耕運機(大宮でエンジン技術応用)、バス(航空機技術でフレームレスボディ製造)などです。

そのうち中島の分割会社でも合同しようという機運が高まり、12社のうち5社が一緒になって昭和28年に富士重工業を創立しました。創立の翌年昭和29年には、航空機製造技術を生かしたＰ－１という1500CCのクラウンを上回る性能、大きさの試作車を数台製作しましたが、興銀管理の泣き所で資金目途がつかず発売に至らず涙をのみました。ちなみに当時の観音開きのトヨタクラウンは昭和30年の発売です。このＰ－１を「スバル」と命名しました。理由は中島飛行機の分割5社が出資して富士重工業という1社を作った。当初はこの6社が存在していた。天に輝いているスバル座は六つら星とも言われ会社6つが輝き続けることを願って新車をスバルと命名しました。

昭和30年代は日本の自動車産業の黎明期で御三家のいすゞ、トヨタ、日産にプリンス等の新興会社ＧＭ、フォード等の外国車が生産に力を入れ販売に力を入れ始めた時でした。富士重工は後発メーカーとして他社との差別化をいかにするかでいろいろアイデアを出しました。ここに中島から引き継がれたユニーク発想が生かされていくことになります。中島の技術者が飛行機を自動車に変えて腕を振るいました。スバルのＤＮＡは中島のＤＮＡを基にしながら出来あがっていく、それはユニークさと、機能重視の発想です。

まずユニークを大いに発揮したクルマ、スバル360を昭和33年3月3日に発売しました。昭和30年に通産省が国民車構想を発表し、富士重工、マツダ、スズキなどが技術を競いました。スバルは全長3m、全幅1.3m、ＲＲ方式のコンパクトサイズの中に機能を盛り込んだパッケージング、四独サス、トーションバースプリング、トレーリングアーム、安定性を確保し、モノコックボディ、シートフレームアルミ化、ＦＲＰルーフ、アクリルＲウインドウ等で軽量化し、航空機コックピットから発想した室内レイアウトで大人4人がゆったり座れるパッケージにしました。

昭和44年まで11年間生産、当時としては量産車で累計40万台を生産しました。マツダのキャロル、スズキのスズライトなどに対して販売は優位に推移しましたが、11年も長く作ると市場から飽きられ、そこにホンダＮ360が出てきてじり貧販売になりました。Ｒ－２で挽回をはかりましたが、Ｔ型フォードの二の舞をやってしまいました。

次にユニークなクルマはスバル1000です。昭和40年10月に発売しました。前年に東京オリンピックがありサニー、カローラも発売され高度経済成長の真っただ中の非常にクルマ産業にとっては登り調子の環境でした。やはり富士重工にとって小型車市場への参入はどうしても果たしたい目標でした。スバル1000の寸法は全長3.9m、全幅1.48mと、幅は今の軽と同じです。いまのクルマがいかに大きくなっているかが解ります。スバル1000は今のスバルの技術ベースを決定つけたクルマです。ユニークな技術でいろいろなユニーク機能を作りました。

この辺の詳細は今回の卓話で時間がなくなってしまいましたので、区切りの良いここで本日は終わらせていただきます。

スバルの小型車の機能、４ＷＤ、レガシィ等のお話をしたいと思いますが、また時間をいただければ話をさせていただきたいと思います。

本日はちょっと尻きれトンボの話で終わってしまい申し訳ありませんでした。

■25年2月出席表

	氏　　名	6	14	20	28		
名	細渕　一男						
1	相羽　　正	○	○	○	○		100
2	赤木　盛一	○	○	○	○		100
3	飯田　能士	△	△	△	△		100
4	石山　　敬	○	○	○	○		100
5	樺澤　　襄	○	○	○	○		100
6	金子　哲男	○	○	△	△		100
7	小町　幸生	○	○	○	○		100
8	村田　秀雄		○		○		50
9	中條　基成		○		○		50
10	中丸　繁男	○	○	○	○		100
11	野村　高章	○	○	○	○		100
12	野村　裕夫		○		○		50
13	野崎　一重	○	○	○	○		100
14	野澤　秀夫	○	○	○	○		100
15	荻野　　昇	○	○	○			75
16	嶋田　憲三	○	○	○	○		100
17	田中　重義	○	○	○	○		100
18	當麻　　誠	○	○	○	○		100
19	戸澤　　忠	○	○	○	○		100
20	漆原　次男	○	○	△	○		100
21	山宮　　隆	○	○		○		75
22	山本　智治	○	○	○	○		100
公式平均		87.50	100	84.00	92.59		91.02
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一				○		
2	五十嵐光利				○		
3	神崎　　武						
4	高橋　　眞						
5	村越　政光		○	○	○		
6	町田　清二	○	○	○	○		100
7	目時　俊一	○	○	○	○		100

名：名誉会員　　○：出席　　△：メークアップ

■点鐘：中丸会長